

Investor Express

株主・投資家の皆さまへ



小田急電鉄株式会社

株主の皆さまにおかれましては、小田急グループに対するご愛顧、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

今般、財務健全性の確保やアフターコロナの事業環境への適合を目指し、経営ビジョン「UPDATE 小田急～地域価値創造型企業にむけて～」を策定いたしました。2027年に小田急線開業100周年を迎えるにあたり、不確実性の高い時代に適合した事業モデルへの更新を進めてまいります。

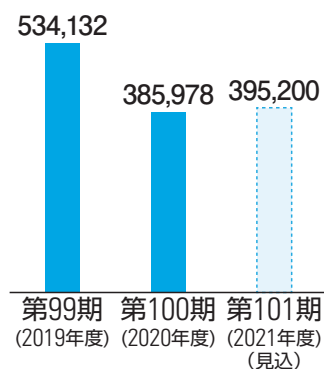
ここに第100期の業績等につきましてご報告申し上げます。

取締役社長 **星野晃司**

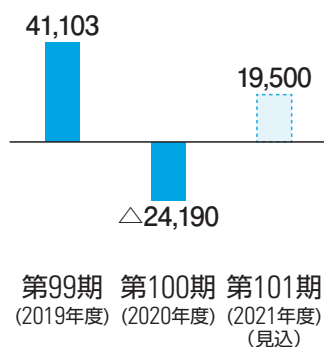


連結業績ハイライト (単位：百万円)

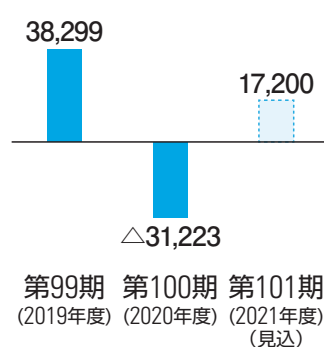
営業収益



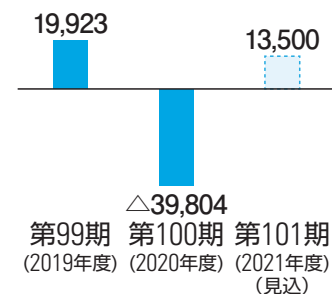
営業利益または営業損失(△)



経常利益または経常損失(△)



親会社株主に帰属する 当期純利益または当期純損失(△)



次期の配当予想について

第101期(2021年度)においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、不透明な経営環境が継続することなどから、誠に遺憾ではございますが、中間配当は見送りとさせていただきますことを予定しております。しかしながら、期末配当は、株主の皆さまへ安定的な利益配当を行う観点から、前期実績と同額の1株につき10円とさせていただきますことを予定しております。株主の皆さまには、心からお詫び申し上げますとともに、早期の業績回復に努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

経営ビジョン「UPDATE 小田急～地域価値創造型企業にむけて～」の策定について

グループ経営理念の実現とさらなる事業成長を遂げるため、2026年度までに取り組むべき方向性を示した経営ビジョンを策定いたしました。「社会・地域」「経済」「環境」の3つの軸を経営判断に取り入れ、事業を峻別し、次の100年に向け地域価値創造型企業へと事業モデルの更新を進めてまいります。

グループ
経営理念

経営理念

小田急グループは、お客さまの「かけがえのない時間」と「ゆたかな暮らし」の実現に貢献します。

行動指針

私たちは、経営理念の実現のため、3つの精神を忘れることなくお客さまに「上質と感動」を提供します。
『真摯』『進取』『融和』

経営ビジョン
UPDATE 小田急～地域価値創造型企業に
むけて～

2027年までに
100年続いてきた
事業モデルを更新する

「地域価値創造型企業にむけて」

私たちは、小田急沿線や事業を展開する地域とともに成長するために、
既成概念に捉われず常に挑戦を続けることで、お客さまの体験や環境負荷の低減など
地域に新しい価値を創造していく企業に進化します。

未来フィールド

将来自らが地域や顧客に提供していきたい価値

体質変革期（2021年度～2023年度）

飛躍期に向けて ①3つの経営課題 と ②3つの発想
を通じた事業の変革に取り組み、経営状況の回復を
図るとともに、既存のビジネスモデルを見直します。

飛躍期（2024年度～2026年度）

未来の小田急の持続的な成長につながる事業創造や
拡大を進め、地域価値創造型企業として次の100年
を歩むため、新たな価値を生み出します。

中期経営計画

2021年度からの3カ年に実施する具体的施策

体質変革期

（2021年度～2023年度）

① 変革にむけた
3つの経営課題② 3つの発想を通じた
事業の変革

『利益水準の回復』『有利子負債のコントロール』『事業ポートフォリオの再構築』

※財務健全性回復の目安として、2023年度における有利子負債残高7,000億円、有利子負債/EBITDA倍率7倍台を目指します。

『DX発想』『共創発想』『ローカライズ発想』

「未来フィールド」に基づく具体的な取り組み

モビリティ × 安心・快適

- 安全性と収益性を両立した事業モデルを構築するとともに、事業環境変化を捉えた新たな提供価値を創出いたします。
- 顧客接点を、駅を起点としたリアルから、スマートフォン等を起点としたデジタルヘシフトするとともに、MaaSを通じた地域の活性化、新しい価値の提案を行うことで、輸送サービスをフックに地域価値を創造いたします。

まちづくり × 愛着

- 複数の機能を融合させ、職、住、商、学・遊に対応した開発を各地域で進め、人々の様々なニーズや変化に柔軟に応えるまちづくりを行います。
- 従来の自社用地開発だけでなく、生活様式の変化に合わせた開発・運用手法の多様化により、開発機会を増やすとともに、収支構造改革を進め、収益を拡大いたします。
- テクノロジーの活用等により、地域の課題を解決する新しいまちづくり事業を多面的に推進いたします。

くらし × 楽しさ

- 新規コンテンツの創造や地域の取組みとの関係性強化を図り、地域への誘客とまちの賑わいを創出いたします。
- デジタルマーケティングの強化を通じて多様化する顧客ニーズを捉えるとともに、リアルとデジタルを融合したサービスを提供いたします。

観光 × 経験

- 箱根・江の島・大山エリアにおける多様な価値提案を通じた新規需要開拓を進めるとともに、新たな観光体験の創出に取り組みます。
- 観光シーンのDXを推進し、顧客の利便性向上を図るとともに、インバウンド回復期を見据えた需要創出策を推進いたします。

わくわく × イノベーション

- 未来にむけた地域の価値を生み出す「価値創造型人材」育成のため、制度や風土、価値観を変革いたします。
- 事業アイデア公募制度「climbers」^{クライマーズ}により、新たなチャレンジを推進いたします。

セグメント別の概況

運輸業



当社の鉄道事業において、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等の影響を受けて定期・定期外ともに輸送人員が大幅に減少したことなどから、減収・減益となりました。

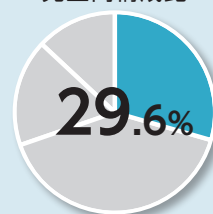
営業収益

116,230百万円
(前期比 32.9%減)

営業利益または営業損失(△)

△25,937百万円
(前期 営業利益 21,641百万円)

売上高構成比



流通業



百貨店業において、新型コロナウイルス感染症の拡大により2020年4月に発出された緊急事態宣言に伴い、食品フロアを除く全てのフロアを臨時休業したことや、外出自粛や入国制限に伴う顧客の減少等の影響を受け、減収・減益となりました。

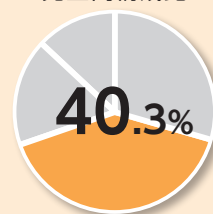
営業収益

157,685百万円
(前期比 23.7%減)

営業利益または営業損失(△)

△1,741百万円
(前期 営業利益 4,373百万円)

売上高構成比



不動産業



不動産賃貸業において、新型コロナウイルス感染症の拡大により2020年4月に発出された緊急事態宣言に伴い、一部の商業施設を臨時休業して入居テナントに対する賃料を減免したことなどにより減収となりましたが、不動産分譲業における当社分譲用地の販売や不動産賃貸業における費用削減等により、増益となりました。

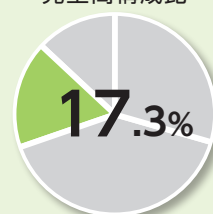
営業収益

72,872百万円
(前期比 9.5%減)

営業利益または営業損失(△)

16,459百万円
(前期比 27.2%増)

売上高構成比



その他の事業



ホテル業における新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛や入国制限に伴う顧客の減少に加え、レストラン飲食業における一部店舗の臨時休業等の影響を受け、減収・減益となりました。

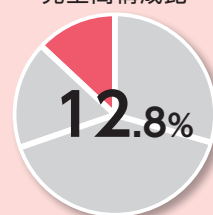
営業収益

68,131百万円
(前期比 39.3%減)

営業利益または営業損失(△)

△13,020百万円
(前期 営業利益 2,090百万円)

売上高構成比



株主さま向け施設見学会(ロマンスカーミュージアム)のご報告

ロマンスカーミュージアム完成を記念し、オープン前の2021年4月10日(土)に「株主さま向け施設見学会」を開催いたしました。

当日は、現役を引退した歴代のロマンスカーや、小田急沿線を模したジオラマ等をご覧いただいたほか、一部の株主さまには、ロマンスカーの運転シミュレーターもご体験いただきました。

参加された株主さまの声

- 公開前の施設を見学でき、とても満足した。開館後にも行ってみたいと思う。
- 孫と一緒に参加させてもらい、とても楽しく過ごすことができました。
- シミュレーターの体験をさせてもらい、大変楽しむことができました。
- 歴代ロマンスカーが並んでいる姿を見て、昔の思い出がよみがえった。



ロマンスカーギャラリー



HISE (10000形)



運転シミュレーター

会社概要

設立	1948年6月1日 (前身の小田原急行鉄道は1923年5月1日設立)
本社事務所	東京都新宿区西新宿一丁目8番3号
資本金	603億5千9百万円
発行済株式の総数	368,497,717株
株主数	48,125名
事業内容	鉄道事業、不動産業、その他事業
従業員数	3,760名

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告により行う。
ホームページアドレス	https://www.odakyu.jp/ir/koukoku/index.html

役員

2021年6月29日現在

代表取締役社長 執行役員	星野晃司	常勤監査役	山本俊郎
代表取締役専務 執行役員	荒川勇	常勤監査役	宇佐美 淳
常務取締役 執行役員	五十嵐 秀	監査役	伊東正孝
常務取締役 執行役員	端山貴史	監査役	鬼丸 かおる
常務取締役 執行役員	長野真司	監査役	林 武史
常務取締役 執行役員	黒田 聡		
取締役	野間口 有	執行役員	細谷 和一郎
取締役	中山弘子	執行役員	久富雅史
取締役	大原透	執行役員	深海 尚
取締役	糸長丈秀	執行役員	沓澤孝一
取締役	立山昭憲	執行役員	水吉英雄
取締役	鈴木 滋	執行役員	露木香織

第100回定時株主総会決議等ご通知

2021年6月29日開催の第100回定時株主総会において、以下のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

報告事項

- ① 第100期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
上記事業報告、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果についてそれぞれ報告いたしました。
- ② 第100期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)計算書類報告の件
上記計算書類の内容について報告いたしました。

決議事項

●第1号議案 剰余金の配当の件

原案のとおり承認可決され、第100期の期末配当について以下のとおり決定いたしました。

- (1) 配当財産の種類
金銭
- (2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額
当社普通株式1株につき金10円 総額3,655,479,290円
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日
2021年6月30日

なお、当期の中間配当につきましては、厳しい経営環境、業績および財務状況を踏まえ、財務基盤の安定を図る観点から、見送りとしており、本議案が原案のとおり承認可決された結果、当期の1株当たりの年間配当金は、前期に比べ11円減配の10円となりました。

●第2号議案 取締役12名選任の件

星野晃司、荒川勇、五十嵐秀、端山貴史、長野真司、黒田聡、野間口有、中山弘子、大原透、糸長丈秀、立山昭憲の各氏が再選されるとともに、鈴木滋氏が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。なお、上記のうち、野間口有、中山弘子、大原透、糸長丈秀の各氏は社外取締役であります。

以上

第100期期末配当金は、同封の「期末配当金領収証」により、ゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)でお受け取りください。また、銀行等の口座への振込をご指定の方には、「お振込みについて」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたのでご確認ください。なお、全ての方に同封いたしております「配当金計算書」は、配当金をお受け取りになった後の配当金額の確認資料としてご使用いただけます(株式数比例配分方式をご指定の方につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください)。

